

当院での在宅看取りの現況

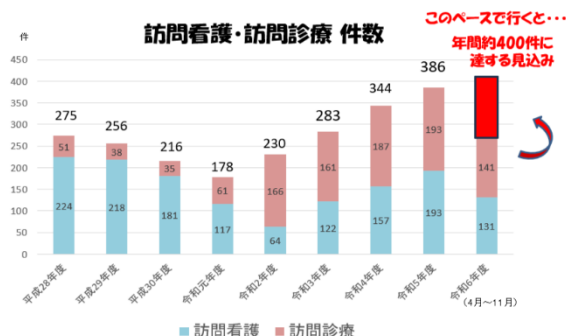
院長 小原 眞

新しい年を迎え、職員一同、新鮮な気持ちでスタートを切りました。ここ数年は雪の少ない冬が多かったのですが、今シーズンは西和賀らしく雪深い冬となりました。先日はついに積雪が2mを超えています。冬の生活は大変ですが、西和賀の住民たちは自然と共存しながらたくましく暮らしています。私たち職員も、住民のニーズに応えるべく、奮闘する毎日です。

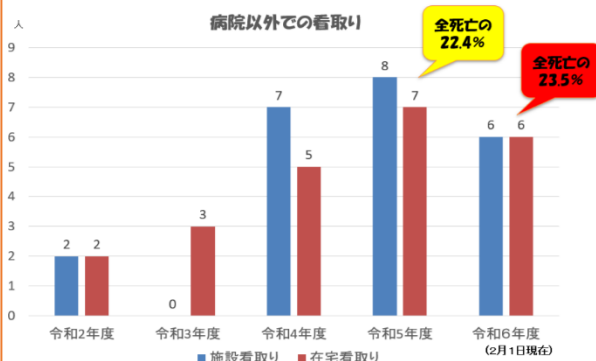
さて、今回は当院での在宅看取りについてご紹介させていただきます。西和賀町の人口は減少の一途をたどり、過去5年間では約15%もの減少があり、「厚生労働省 国立社会保障 人口問題研究所」による分析では20年比で62.2%の人口減少が見込まれるとされています。人口減少・高齢化に伴い、独居生活や老々介護の家庭が増え、当院でもそれに対応した診療が必要となりました。そこで、訪問診療・訪問看護に注力した結果、訪問件数はここ5年間で2倍以上に達しています。また、「人生の最期を自宅で迎えたい」との要望に応え、在宅でのお看取りも数多く手掛けるようになりました（特別養護老人ホーム等の施設での看取りも含む）。そのために、「在宅看取りのマニュアル」を作成・充実化を図り、多くの方を在宅で穏やかにお看取りすることができました。在宅看取りの件数をまとめたところ、ここ数年では年間12～15件に達しました。これは当院の全死亡の23%にも上り、約4人に1人は在宅でお看取りしていることになります。在宅看取りが増えたことにより、患者家族の満足度が上がるとともに、「自らの手で家族を見送ることができた」という達成感を感じてもらうことができ、それぞれの地域での評価を得ています。

人口減少・高齢化・過疎化等、様々な問題が山積する中、地域のニーズに応えながら、これからも良い診療を提供できるよう努力していく所存です。関連する医療機関、介護福祉施設等の皆様には、多くのご理解とご協力をいただかなければなりません。今後ともどうかよろしくお願い致します。

西和賀さわうち病院 統計



西和賀さわうち病院 統計



睡眠の力を引き出そう！ ～総合診療医が語るぐっすり ガイド～ 内科医長 石亀 慎也

1月11日、第19回西和賀町学校保健研究集会が銀河ホールで開催され、「睡眠」をテーマに講義を行いました。良い睡眠は単に睡眠時間だけでなく、起床後の休養感が重要です。この点は健康日本21（第3次）に共通する西和賀町民の課題であり、特に関心をもっていただきました。講義では年代別の介入方法を紹介し、小学生から高齢者まで、それぞれの生活に合わせた改善策を提案しました。また、睡眠環境の調整や生活習慣の見直し、嗜好品の制限など、具体的なアプローチを解説しています。さらに、睡眠障害の背後に隠れる病気や、漫然と処方される睡眠薬のリスクにも触れました。当院の取り組みとして、睡眠時無呼吸症候群や入院による処方見直しを紹介し、最後にマインドフルネス呼吸法を実践してもらいました。眠りへの考え方を見直すきっかけを提供しました。今後も地域全体の健康づくりを支援していきます。



銀河ホールで開催されました



睡眠をテーマに講義を行いました

臨床研修医成果報告会を開催しました。

内科医長 石亀 慎也

1月17日、臨床研修医成果報告会をオンラインで開催しました。県立中部病院と盛岡市立病院から当院で地域医療研修を経験した7名が発表しました。研修医全員が担当患者を通じて退院調整や地域包括ケアシステムに触れる貴重な経験を得ており、実践に基づいた学びが反映されていました。北村顧問からは「目標設定と方略の見直しが効果的で、個別の振り返りや患者割り当てが学習効果を高めた」と評価され、研修医の成長が明確に示されました。次回は現地開催を目指し、基幹型臨床研修病院との連携強化を図ります。今後も報告会を通じて若手医師の成長を後押しし、地域医療の質向上に貢献していきます。



オンラインで開催しました